様式第２号

平成31年度地域雇用活性化推進事業事業構想提案書（簡略版）

<table>
<tr><td>地域の名称</td><td colspan="3">〇〇市</td><td>地域分類</td><td colspan="2">雇用機会不足地域</td></tr>
<tr><td>事業タイトル</td><td colspan="6">魅力ある雇用を通じた〇〇市さいこうプロジェクト（再考～再興～最高へ！）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">有効求人倍率
広域の場合はすべての市町村分を記載</td><td colspan="2" rowspan="2">季節除く一般（パート含む）</td><td colspan="2" rowspan="2">常用（パート除く）</td><td rowspan="2">人口（人）
（平成30年1月1日の人口）</td><td rowspan="2">人口減少率
（%）
（平成25年3月31日の人口-平成30年1月1日の人口）/（平成25年3月31日の人口）
（※全国平均0.52）</td></tr>
<tr><td>平成28年1月～平成30年12月平均
（※全国平均1.50のため１以下）</td><td>平成30年平均
（※全国平均1.62のため１以下）</td><td>平成28年1月～平成30年12月平均
（※全国平均1.26のため１以下）</td><td>平成30年平均
（※全国平均1.41のため１以下）</td></tr>
<tr><td>〇〇市</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>〇〇市</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>現状・課題・
重点分野
（重点分野を太字とし、下線を引くこと）</td><td colspan="6">〇〇市の雇用失業情勢は回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況が続いている。特に、事務職では０．２５倍と非常に厳しい状況である一方、最も高い〇〇では〇〇倍と大きなミスマッチが生じており、とりわけ中心産業の製造業においては、労働力人口の減少や高齢化の影響に加え、製造業のもつイメージ等により、求人を出してもなかなか充足しない状況が続いており、平成〇〇年頃から深刻な人手不足の状況に陥っている。
これまで〇〇市では、平成〇〇年に策定した〇〇市総合戦略に基づき、地元企業に対する新技術等研究開発支援、創業希望者に対する創業準備支援等の取組により、地域経済の活性化、産業の振興、雇用創出を図ってきたところであるが、少子高齢化や人口減少に伴う人手不足といった雇用を取り巻く新たな課題が生じてきており、それらに対応した新たな施策を講じる必要がある。
今後、〇〇市が活性化していくためには、中心産業である製造業の成長が不可欠であり、他の分野への波及効果も大きいことから、<u>製造業分野</u>を重点分野に設定する。
また、地域内企業の多くは、事業規模も売上げも小規模であることから、賃金面や働きがいという側面で限界があり、求職者には魅力的に映りづらいため改善していく必要がある。そのためには、地域企業の事業拡大が必要であり、自社や自社製品の情報発信が重要であるが、効果的に実施できている企業が少ないことから、<u>ＩＣＴ活用分野</u>も重点分野に設定し、効果的な情報発信をサポートしていく。
労働力人口の減少については、市内に大学等がないことによる進学のための市外転出や若者を中心に市外の魅力的な仕事を求めて市外転出してしまう影響が大きい。以前は、進学により一旦は地域を離れても、卒業後にＵターン就職する者が多かったが、近年は減少傾向が続いており、若年者層の地元離れが顕著となっている。
一方で、高齢者や子育て世代の女性は勤務時間や転勤の制約等から現状では就業率が低いものの、潜在的な就労意欲は高く、体力面・家庭事情により市内での就職を強く希望している者も増加していることから、多様な働き方を実践する市内企業が増加すれば、これらの者の就業率向上が大いに期待される。
〇〇市では労働力人口の減少対策として、これまでも中学・高校生及び保護者を対象とした企業説明会や企業見学バスツアーの定期開催をはじめ、ＵＩＪターン求職者に対して住宅費の補助を行う事業に取り組んでいるものの、雇用環境や賃金面、移住環境等で折り合いが付かず、十分な成果を挙げられていないのが現状である。
引き続き、〇〇市の総合的な魅力の見せ方を強化していかなければならないのは当然であるが、とりわけ雇用面が若年者の定住やＵＩＪターン希望者の移住の決定を左右するウエイトが高いため、地域内企業において訴求性の高い魅力ある雇用を確保し、若年者層やＵＩＪターン希望者をはじめ、高齢者や子育て世代の女性にもアピールしていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>事業の全体像</td><td colspan="6">当該地域の中心産業である製造業分野と市内企業が事業拡大のために効率的・効果的に情報発信を行うに当たって必要不可欠なＩＣＴ活用分野を重点分野に設定し、〇〇商工会議所、〇〇工業大学、〇〇地域組合、〇〇銀行等地域の関係機関との連携のもと、地域雇用活性化推進事業を活用し、各種講習会、伴走型支援を通じて地域内の製造業を中心に魅力ある雇用を確保する。また、それを担う人材を各種講習会で育成した上で、就職面接会等を通じてマッチングを図り、地域雇用の安定化を目指す。併せて、労働力人口減少に対応するため、魅力ある雇用を発信し、ＵＩＪターン希望者等の地域への誘導や新規高卒者の地域内転職を図る。</td></tr>
</table>

事業構想の内容	個別事業名	上段：取組内容　下段：アウトプット・アウトカム（左から１年目、２年目、３年目）			
事業所の魅力向上、事業拡大の取組	①市内製造業の連携を進めるためのニーズ調査	○○工業大学のアドバイスの下、市内製造業が複数社で連携して、より付加価値のある製品を地域外に展開していくための専門的なニーズ調査を行う。			
		アウトプット	－	－	－
		アウトカム	－	－	－
	②高付加価値を生む製造業講習会	市内製造業が有する技術やネットワークという地域資源を生かして新たなイノベーションの活性化を促し、上記①の調査結果を踏まえた高付加価値製品の製造、新分野進出、販路拡大、生産性向上、雇用管理改善等、どのようなことが可能になるのか自社の経営にヒントを与える講習会を実施する。併せて、自社が魅力ある職場であることを求職者に対してアピールする手法を学び、マッチングにつなげていく。			
		アウトプット	15社	30社	30社
		アウトカム	3人	6人	6人
	③ＩＣＴを活用した情報発信力向上講習会	製造業、小売業、サービス業を中心に、ＩＣＴ技術をフル活用し、自社や自社商品についてどのように対外的に発信していけば高い効果が得られるのか、どうブランド化を図っていくか、どう市外外貨の獲得を図っていくか等、実例を用いて自社の情報発信力を向上させ、事業拡大につなげていくための講習会を実施する。			
		アウトプット	15社	30社	30社
		アウトカム	3人	6人	6人
	④高齢者、子育て世代の女性等活用講習会	現在の人手不足に対応するため、働く意欲があるものの労働時間や転勤の制約等により就職をためらっているような高齢者や子育て世代の女性等の積極的活用に向けた講習会を実施する。具体的には、高齢者にもできる仕事の切り出し方、ワークシェアリングの導入方法、雇用管理改善の進め方等について解説する。			
		アウトプット	15社	30社	30社
		アウトカム	3人	6人	6人
	⑤製造業における高付加価値製品展開についての伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開	上記②の講習会を受講した地域内企業を中心に魅力ある雇用づくりに意欲ある地域内企業を２社選定し、上記①の調査結果を踏まえた上で、製造業イノベーションに知見のある専門家、弁理士、中小企業診断士、○○工業大学教授等の専門家を派遣して、高付加価値製品の開発やその後の展開についてアドバイス等を行う。 また、取組を通じて得られた好事例を収集して地域内へ展開し、地域内企業における魅力ある雇用の創出を目指す。			
		アウトプット	－	－	2社
		アウトカム	－	－	2人
人材育成の取組	①製造業に必要なスキル講習会	地域内の中小企業製造業は大企業の製造業と異なり、大規模大量生産ではなく小ロット多品種の製造を行うことが多いことから、従業員一人一人の守備範囲が広く、幅広い知識・技術が求められることとなる。このため、それを念頭に置いた中小企業製造業に必要なスキルを習得する講習会を実施する。具体的には、課題設定力、データ分析力・活用力、工場内外コミュニケーション向上等、生産性を向上させるためのスキルの習得を目指す。			
		アウトプット	15人	30人	30人
		アウトカム	2人	4人	4人
	②情報発信のためのＩＣＴスキル習得講習会	就職先において、地域内企業が自社や自社商品の情報を発信していくに当たって必要なスキルの習得を目指す。具体的には、基礎から応用までのＩＣＴスキルに加え、デザイン発想トレーニング等、事務職希望者のレベルアップを念頭に置いた講習会を実施する。			
		アウトプット	20人	40人	40人
		アウトカム	3人	6人	6人
	③○○講習会	○○○○を行う。			
		アウトプット	15人	30人	30人
		アウトカム	2人	4人	4人

	就職促進の取組	①情報チャンネルＨＰ	地域内企業と地域求職者に対して協議会が実施する各種講習会等の告知や周知に加えて、市外からの訪問者向けに情報を発信するために協議会のＨＰを開設し、市内外へ多くの情報を提供する。			
			アウトプット	－	－	－
				－	－	－
			アウトカム	－	－	－
				－	－	－
		②合同就職セミナー、面接会	地域求職者を対象としたセミナーと面接会を開催しマッチングを図る。			
			アウトプット	10社	20社	20社
				30人	60人	60人
			アウトカム	5人	10人	10人
				5人	10人	10人
		③ＵＩＪターン説明会、面接会	ＵＩＪターン求職者に対して、東京等での企業説明会及び面接会を開催する。			
			アウトプット	10社	20社	20社
				10人	20人	20人
			アウトカム	2人	4人	4人
				2人	4人	4人
		④ＵＩＪターン就労体験	上記③に参加したＵＩＪターン求職者を中心に、実際に〇〇市での就労体験を通じて地域内で働くことをイメージしてもらい、マッチングにつなげていく。			
			アウトプット	－	20社	20社
				－	45人	45人
			アウトカム	－	4人	4人
				－	4人	4人
		⑤高校３年生への企業説明会	地域内企業の魅力を発信し、地域内就職を促進する観点から地域内・近隣地域の高校において、高校３年生を対象とした実機デモによる企業説明会を開催する。			
			アウトプット	－	－	－
				－	－	－
			アウトカム	－	－	－
				－	－	－
		⑥大学４年生への企業説明会	地域内企業の魅力を発信し、地域内就職を促進する観点から近隣大学の４年生（未内定者）を対象とした企業説明会を開催する。			
			アウトプット	10社	20社	20社
				10人	20人	20人
			アウトカム	1人	2人	2人
				1人	2人	2人
地域再生法第５章の特別の措置		まち・ひと・しごと創生交付金（地方創生推進交付金）				
地域再生基本方針に基づく支援措置		小さな拠点の形成に資する事業を行う株式会社に対する投資促進税制				
地域再生基本方針に基づく支援措置以外の国等による支援措置		地域未来投資促進法に基づく基本計画				
市町村自らが実施する独自の取組		新技術等研究開発支援事業、ＵＩＪターン移住者住宅補助事業、〇〇市創業大学事業、サテライトオフィス誘致事業、アクティブシニア就労健康維持セミナー、子育てお助けチケット事業、待機児童ゼロ作戦				

		平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
アウトプット	事業所の魅力向上、事業拡大の取組	45 社	90 社	92 社	227 社
	人材育成の取組	50 人	100 人	100 人	250 人
	就職促進の取組	30 社	80 社	80 社	190 社
		50 人	145 人	145 人	340 人
アウトカム	事業所の魅力向上、事業拡大の取組	8 人	16 人	18 人	42 人
	人材育成の取組	7 人	14 人	14 人	35 人
	就職促進の取組	8 人	20 人	20 人	48 人
		8 人	20 人	20 人	48 人
	合計（単純合計）	31 人	70 人	72 人	173 人
	合計（重複排除）	10 人	35 人	35 人	80 人
事業費	人件費	千円	千円	千円	0 千円
	管理費	千円	千円	千円	0 千円
	事業費	千円	千円	千円	0 千円
	消費税	千円	千円	千円	0 千円
	総額	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

事業構想イメージ図

事業構想のイメージ図を作成してください。
様式は自由です。